

# 難易度設定に基づいた段階的 運転リハビリテーション治療

桔梗ヶ原病院

園原和樹， 佐藤理恵， 松塚翔司



第56回日本リハビリテーション  
医学会学術集会 2019年6月14日

# ドライブシミュレーター(DS)について

## 【意義】

現在の運転支援

I. 運転適性の評価

II. リハビリテーション課題としての訓練機器

① 運転技能の再獲得

② 運転習慣の再学習

リハビリの意義 = 機能回復

## 【長所】

I. 机上課題で評価できない運転適性を評価

II. 教習所で施行する実車評価と似た意義がある。

## 【短所】

I. シミュレーター酔い

II. 機器操作に慣れが必要

# HONDA セーフティナビ

## 【コース一覧（7種類59コース）】

- I. 運転反応検査（4コース）
- II. 運転操作課題（18コース）
- III. 市街地走行
  - ①総合学習体験（3コース）
  - ②危険予測体験（18コース）
  - ③環境別走行体験（6コース）
  - ④ロングドライブ（6コース）
- IV. ファンドライブ（4コース）

コースが多すぎて  
使い方がわからない

# 難易度設定に基づいた段階的運転リハビリテーション

## 【現在の課題】

- 多数（7種類59コース）存在する走行コースの特徴  
・ 差異を理解できず、適切に使いこなせていない。

## 【走行コースの再分類】

### I. 評価

運転反応検査, 運転操作課題, 総合学習体験

### II. 自動車運転リハビリテーション

①危険予測体験 + 環境別走行体験

②運転反応検査

③運転操作課題（必要時のみ）

# 【難易度設定】

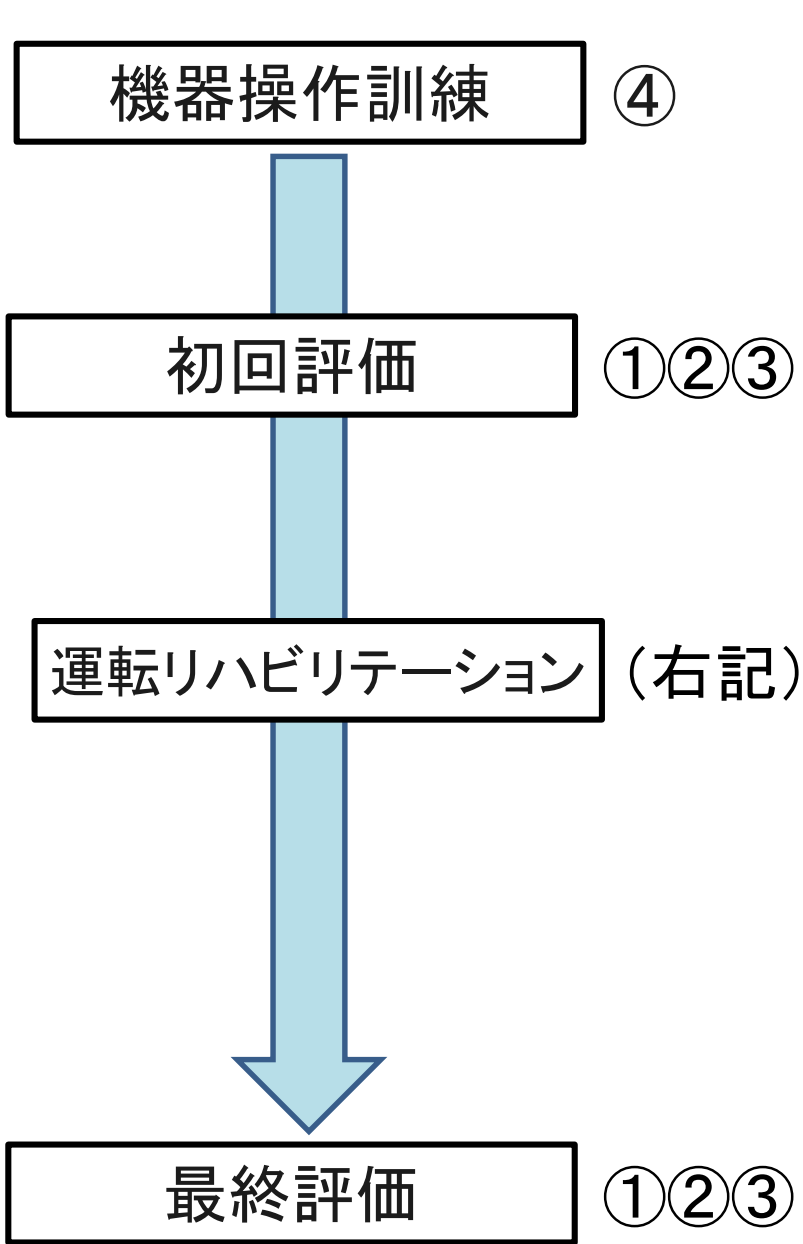
## I. 運転反応検査

	課題			難易度	時間
	アクセル	ブレーキ	ハンドル		
単純反応	○			easy	2.5分
選択反応	○	○		normal	3.5分
ハンドル			○		3分
注意配分	○	○	○	hard	5分

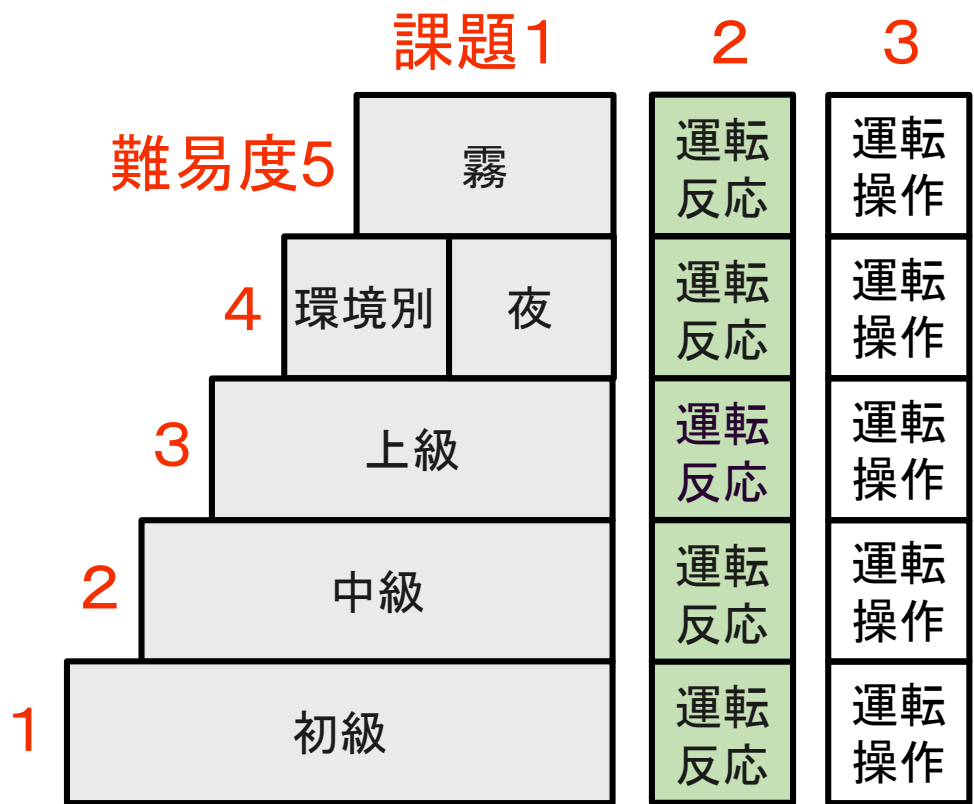
## II. 危険予測体験 + 環境別走行体験

①初級 < 中級 < 上級 < 環境別

②昼 < 夜 < 霧

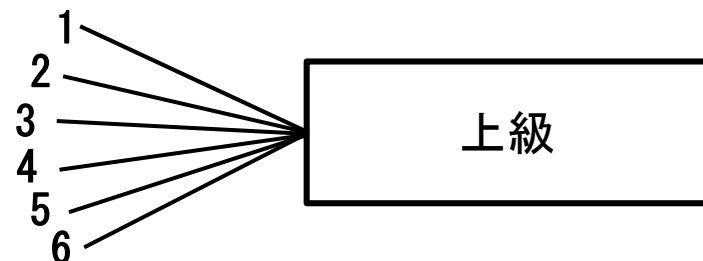


- ① 運転反応検査
- ② 運転操作課題
- ③ 総合学習体験
- ④ ファンドライブ (山岳)



# 結語 ～ 段階的運転リハビリテーション導入の意義

- I. 訓練担当者の中で、運転リハビリテーションの使用方法（DSの使い方）が統一された。
- II. 患者の回復段階にあわせて、適切な難易度の走行コースによる訓練を行うようになった。



## III. 課題

- ①限局したコースを繰り返し訓練することで、誤った学習となる。
- ②訓練担当者の中で、運転リハビリテーションの導方法が統一されていない。